

I. 広東省

1 企業設立時の企業名登記事前審査と承認が不要に

●広東省は新規で企業の設立登記をする際の企業名登記の事前審査と承認が不要となった。企業設立の時間を短縮させることを推し進めることを目的としている。20日から実施された（21日付「南方日報」1面）。

2 広東省の裁判所での行政機関一審敗訴率は10.7%

●広東省高級人民法院が公布した《2017年度広東省行政訴訟白書》によれば、2017年度の行政機関の一審の敗訴率は10.7%（17,776件中1,891件）であり、前年同期比1.5%減少した（23日「南方日報」4面）。

3 恵州市に初の海上風力発電所を建設

●恵州市発展改革局は、中国広核グループによる恵州港での海上風力発電プロジェクトを許可し、海上風力発電所のプロジェクトの建設に同意した。総投資額は81.79億元（23日付「南方日報」7面）。

4 広東省から320名の教師を新疆に派遣

●今年、広東省から320名（そのうち深センからは50名）の教師が、新疆のカシュガル地区支援のために派遣される。カシュガル地区12の小学校に派遣される（24日付「南方日報」2面）。

5 香港・珠海・マカオ大橋の通行料金が決定

●香港・珠海・マカオ大橋管理委員会は、広東省人民政府の同意を経て、香港・珠海・マカオ大橋の通行料金を決定した。普通車及びタクシーは150元、クロスボーダーバスは200元、シャトルバスは300元となる（24日付「南方日報」3面）。

6 上海市代表団一行が広東省を視察

●24日～25日、上海市代表団一行が広東省を視察・交流した。両省市は広州市で協力・交流についての座談会を開催し、協力事項について協議した。座談会では林少春・広東省副省長が広東省による広東・香港・マカオビッグベイエリア、自由貿易試験区建設及び拡大開放等の活動状況について紹介し、温国輝・広州市長が広州市の不動産調整状況について紹介した。上海市代表団一行は広東・香港・マカオビッグベイエリア建設地、自由貿易試験区等を視察した。任学鋒・広東省党副書記、王偉中・深セン市党書記、欧陽衛民・広東省副省長、陳如桂・深セン市長、許昆林・上海市副市長も関連する活動に参加した（26日

付「広州日報」1面)。

II. 広州市

1 広州市の弁護士業の2017年の営業収入は47億元

●広州市の弁護士業務の営業収入は三年連続で30%近く増加しており、2017年の総営業収入は47億元に達した(20日付「広州日報」6面)。

※広州市には719の法律事務所があり、13,259人の弁護士がいる。

2 広州市の家賃は緩やかな上昇

●中原地产が記者に提供したデータによれば、7月の広州市の中古マンションの平均家賃額は天河区が最も高く、66.6元/㎡(前年比9.2%増)だった。次いで越秀区が63.0元/㎡(同比4.2%増)、海珠区が62.7元/㎡(1.9%増)だった(22日付「南方日報」8面)。

3 張碩輔・広州市書記が百済神州の創始者と会見

●21日、張碩輔・広州市書記が王曉東・百済神州創始者兼科学顧問委員会主席と会見した。張碩輔・書記は、「広州はイノベーションプラットフォームの国際化の建設やバイオ医薬発展などの戦略性の新産業の発展に力を入れる。百済神州は広州で更なるチャンスを掴み、ウィンウィンの関係となることを希望している」と述べた(22日付「広州日報」2面)。
※百済神州有限公司は北京に本社を置くバイオ医薬企業。2010年設立で現会長は欧雷強氏。2017年7月に広州開発区と共同出資で「百済神州生物薬業有限公司」を設立した。投資額は約23億元。

4 張碩輔・広州市書記一行が梅州市を視察

●23日、張碩輔・書記率いる一行が梅州興寧市新圩大村村を訪れ、貧困救済のための視察をした。広梅産業園にある広汽の自動車部品、広薬王老吉大健康産業園、新エネルギー材料など先進製造業プロジェクト、広梅共建職業教育プロジェクトなどを視察した。その後、広州・梅州両市による貧困救済活動についての座談会が行われた(24日付「広州日報」2面)。

III. 深セン市

1 中国スマート都市(国際)イノベーションフォーラムが開催

●21日、2018中国スマート都市イノベーションフォーラムが深セン会展センターで開催され、スマート都市領域のハイテク技術企業を含む50名近くのイギリス企業代表団も訪れた(22日付「深セン特区報」5面)。